TacaoF

シルバーカー
〈スタンダードタイプ〉

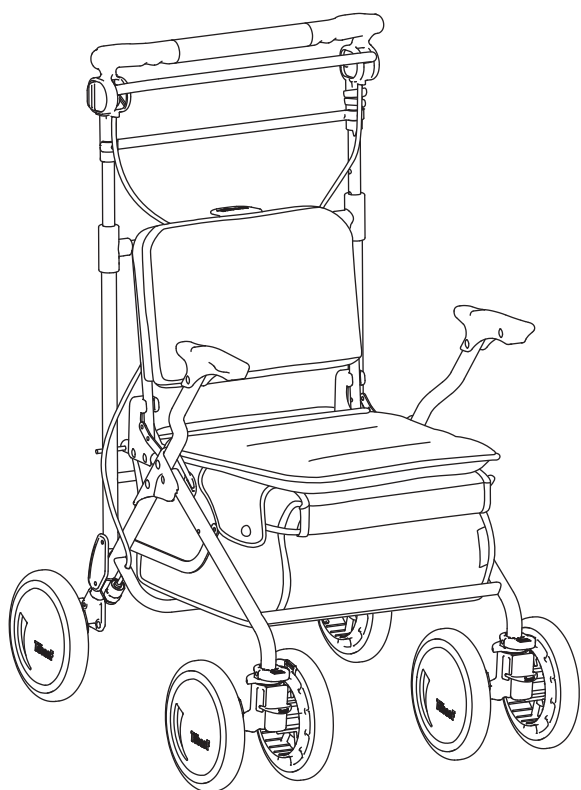
品名 カゴノアL

品番 SLT08

取扱説明書

この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。手すり等の固定されたものにつかまらなければ歩行できない方や、介助者がいなければ歩行できない方の使用には適しません。必要に応じて専門家等（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し、使用に適しているかどうかを確認のうえ、購入されることをおすすめします。

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。

目 次

福祉用具総合メーカー
〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1
【カスタマーサポート】10時～17時（土・日・祝日を除く）
フリーコール 0120-508-058
http://www.tacaof.co.jp

転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用前の注意

⚠警告　下記の場所では絶対に使用しないでください。

●バス・電車の中やエスカレータ。　●雨・雪・凍結などで滑りやすい所。

⚠注意　誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 加齢等によってこの製品が合わなくなり、危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止してください。またこの製品を使用することが適切かどうかを定期的に専門家等に確認してください。
- 組み立てるときは周囲に人がいないことを確認してください。
- 組み立て、折りたたみおよび調節は確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- 左右のロックレバーがかかっていることを確認してください。ロックレバーがかかっていないと、使用中に折りたたまれることがあり危険です。
- 各部を点検し､特にハンドブレーキと駐車ブレーキの使用時に左右の後輪が確実に固定されることを確認してください。
- ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。ブレーキシューが後輪内側に干渉する場合はブレーキの調節をしてください。（「ブレーキの調節方法」参照）
- ネジなどのゆるみがないこと､押し手が固定されていることを確認してください。
- タイヤおよびブレーキに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへ連絡してください。
- ご使用の際は、かならずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 坂道・溝・段差のある所、砂・泥・水溜りのある所を通る場合は十分に注意してください。
- 交通量の多い所や混雑している所で使用する場合、また夜間に使用する場合は十分に注意してください。

ご使用上の注意

⚠警告　誤った使い方をすると､人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき

- 押し手を片手で操作しないでください。
- 押し手に寄りかかると車体だけが前へ動き、転倒することがあり危険です。また、押し手に荷物を吊りさげるとバランスを崩し危険です。絶対にしないでください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒するおそれがありますので注意してください。また段差に対して斜めに進入しないでください。段差の手前ではかならず一旦止まり、十分注意して慎重に越えてください。

ご使用上の注意

	⚠警告　誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。
座面に関して	● 座面に座る際はキャスターを直進固定の状態にしてください。 ● 座面に座る際は身体をまっすぐ前に向けて座ってください。座面に対して斜め、 ● また横向きに座るとバランスを崩すことがあり危険です。 ● 座面に座る際はかならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。 ● 立ち座りの際は車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと身体を動かしてください。 ● 勢いよく座らないでください。車体が変形、破損することがあります。 ● 最大使用者体重をかならず守ってください。
カゴうけに関して	● カゴうけには座らないでください。 ● カゴに荷物を載せる際は勢いよく載せないでください。車体が変形、破損することがあります。 ● カゴ以外の物をカゴうけに載せて使用しないでください。
	● 分解・修理は弊社サービス員以外行わないでください。

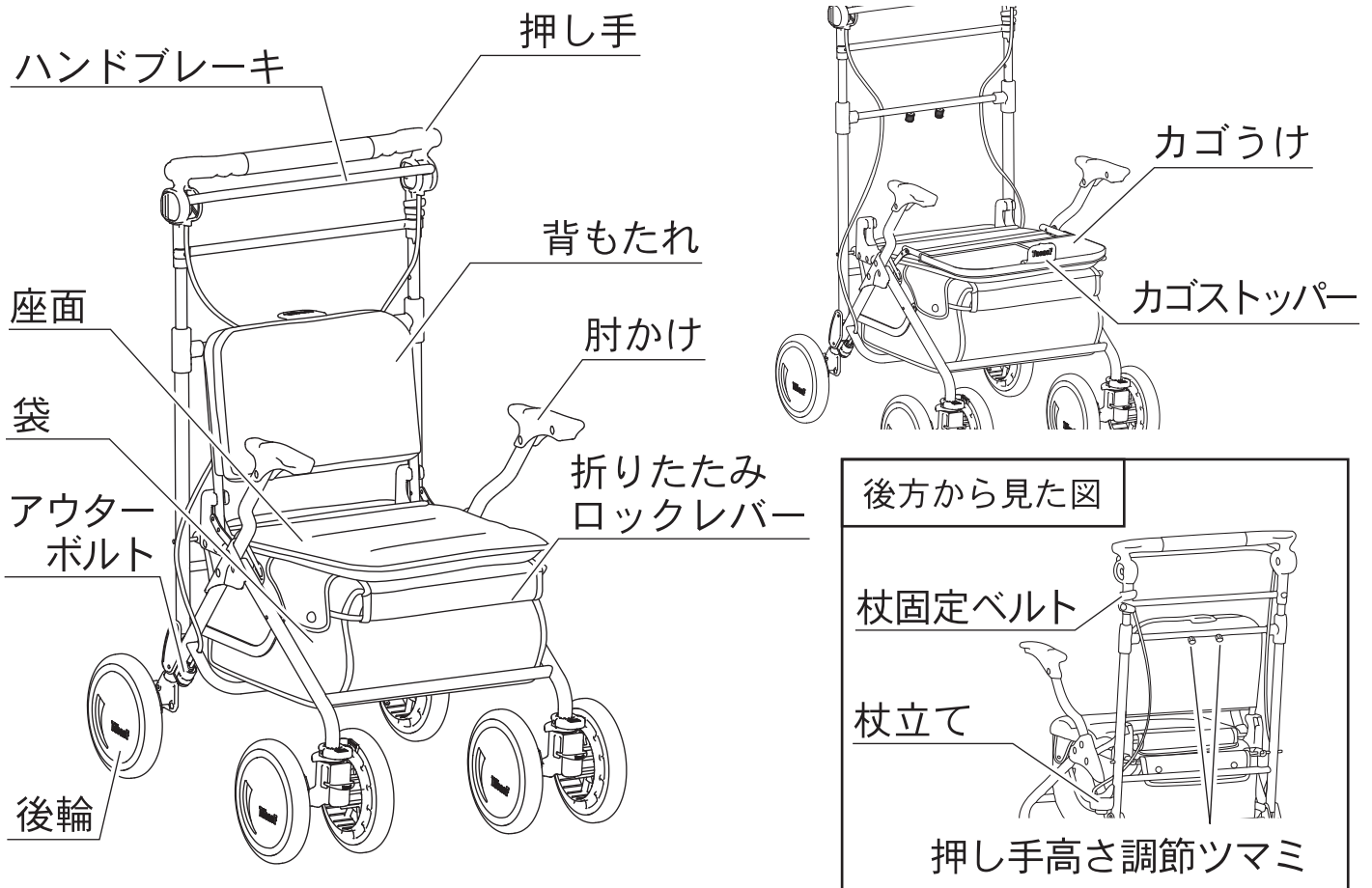
	⚠注意　誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。
歩行のとき	● ハンドブレーキを握った状態、および駐車ブレーキをかけた状態で歩行しないでください。 ● 車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけてください。また、非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。 ● ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。 ● 坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえブレーキをかけても動く場合があり大変危険です。やむを得ない場合は動かないように十分に注意してください。 ● 踏切などの溝を越えるときは、前輪がはまらないように十分に注意して操作してください。 ● 座面に人を乗せたまま押さないでください。
座面に関して	● 坂道などの斜面では座らないでください。 ● 浅く座らないでください。 ● 踏み台として使用しないでください。 ● 幼児、子供を座面上に立たせないでください。また、操作させないでください。
袋に関して	● 袋に10kg以上の重さの荷物を入れないでください。 ● 袋に荷物を入れたままで折りたたまないでください。 ● 袋の中に乳幼児を乗せないでください。 ● 袋の中に貴重品を入れたまま車体からはなれないでください。
カゴうけに関して	● カゴうけに袋内の荷物と合計して10kg以上の重さの荷物を載せないでください。 ● カゴを載せたままで折りたたまないでください。 ● カゴを載せた状態で、急な坂道などで使用しないでください。 ● 踏み台として使用しないでください。 ● 幼児、子供をカゴうけに立たせないでください。また、操作させないでください。 ● 段差のある所で使用したり、急激に車体を押したりするとカゴがずり落ちる危険性があります。十分に注意して使用してください。

お手入れ方法

- 雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- 袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックの劣化や破損をまねくことがあります。

保管方法

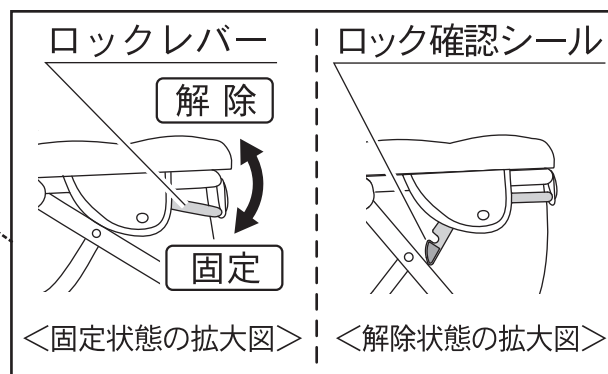
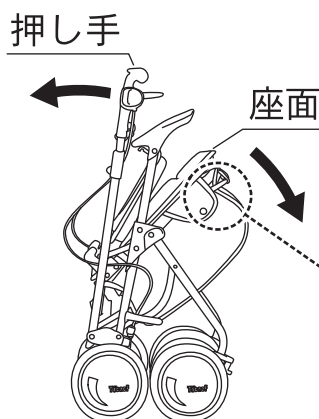
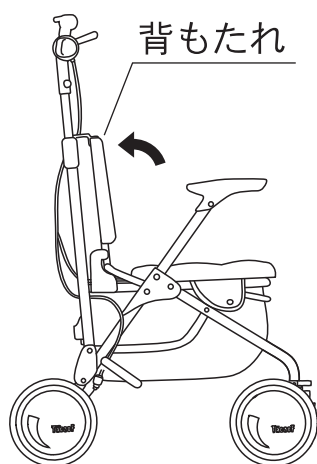
- 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。

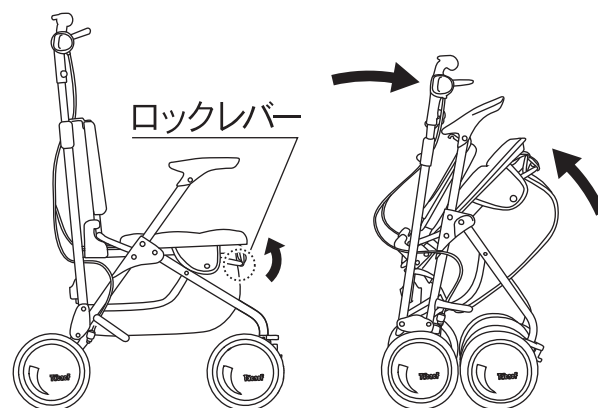
各部の名称と製品仕様

組み立て寸法	幅520×奥行605 ×高さ820～940mm	重量	6.7kg
		最大使用者体重	100kg
折りたたみ寸法	幅520×奥行350×高さ750mm	袋・カゴうけの合計積載荷重	10.0kg
押し手高さ	820～940mm 5ポジション		
座面高さ	390mm	本体材質	アルミ
座面寸法	幅330×奥行275mm	車輪材質	ポリプロピレン・EVA
袋寸法	幅295×奥行335×高さ185mm	座面・背もたれ・袋材質	ポリエステル・ポリウレタン

※折りたたみ寸法、および押し手高さは参考数値です。

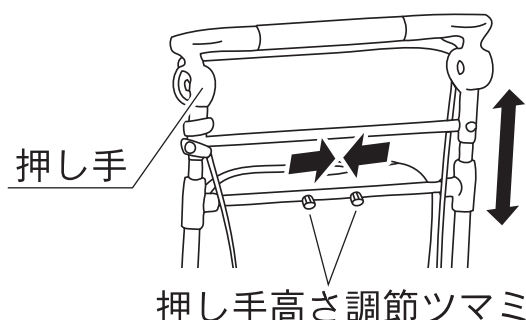
車体の組み立て方・折りたたみ方

【組み立て方】

1 押し手と座面を持ち、固定状態の拡大図のように赤色のロック確認シールが見えなくなるまで、座面を下へ押しさげ、座面が確実に固定されたことを確認してください。

2 背もたれをあげ、背もたれが確実に固定されたことを確認してください。

【折りたたみ方】

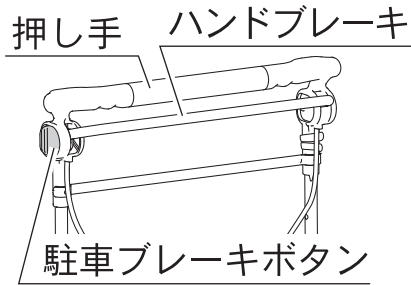
座面下のロックレバーと押し手を持ち、引き寄せてください。

⚠注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。

押し手高さの調節方法

押し手高さ調節ツマミを内側に寄せて固定を解除してください。そのまま押し手を上下させ、お好みの高さでツマミをはなしてください。
ツマミが外側に開いて、押し手が固定されたことを確認してください。

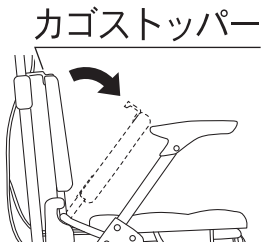
⚠注意

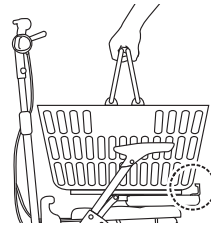
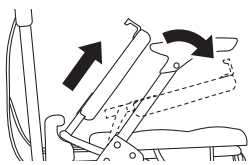
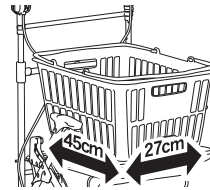
- 押し手高さ調節ツマミが外側に開き、押し手が確実に固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

ブレーキの使用方法

■ハンドブレーキの使用方法
押し手とハンドブレーキを一緒に握るとブレーキがかかります。指をはなすと解除されます。

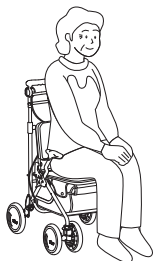
■駐車ブレーキの使用方法
駐車ブレーキボタンを押すと、後輪が固定され駐車ブレーキがかかります。押し手とハンドブレーキを一緒に握ると解除されます。

⚠注意
- 座面に座るとき、車体からはなれるときはかならず駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

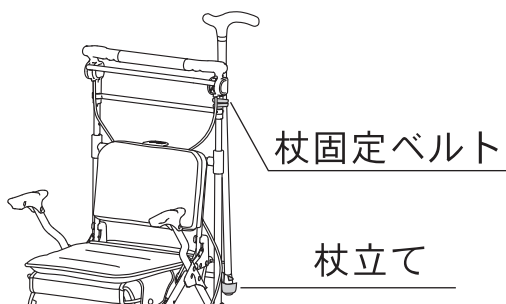
カゴうけの使用方法

1 カゴストッパーを持ち、背もたれを少し前方に倒してください。

2 斜め上方向に引っぱりながら、背もたれを前方に倒してください。

3 カゴうけのカゴストッパー内側にゆっくりとカゴを載せてください。

設置可能なカゴの底面の奥行の大きさは約45cmまでで、幅の大きさは約27cmまでです。
※カゴの大きさは参考数値です。

⚠注意
- カゴうけには座らないでください。
- カゴに荷物を載せる際は勢いよく載せないでください。車体が変形、破損することがあります。
- カゴ以外の物を載せたり、台車として物品運搬などに使用しないでください。

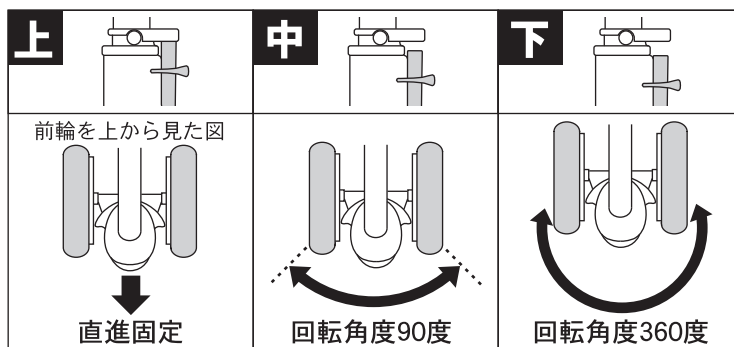
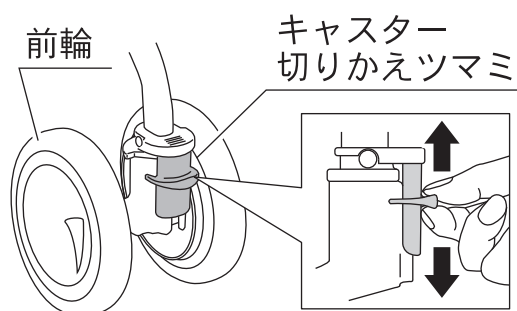
座面の使用方法

1 駐車ブレーキをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してください。

2 左右のロックレバーがかかっていることを確認してから、ゆっくりと座面の中央に座ってください。

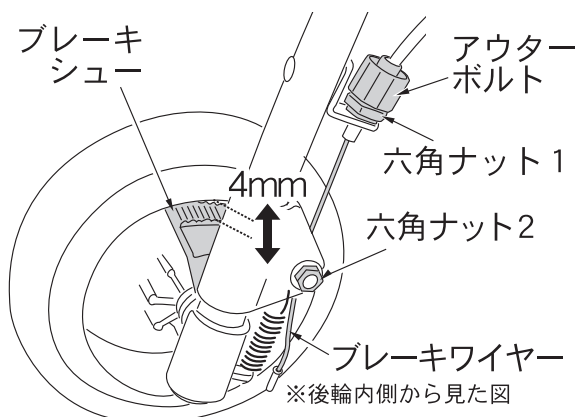
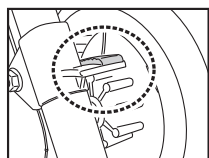
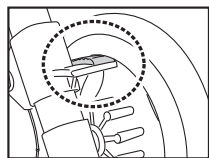
杖立ての使用方法

押し手に付いている杖固定ベルトで杖を固定し、杖立てで受けてください。

⚠注意
- 杖が確実に固定されていることを確認してください。ぐらつきがあると走行中にはずれることがあり危険です。

ワン・ツー・スリーキャスターの使用方法

前輪の動き方を、お好みに合わせて3段階に設定していただけます。キャスター切りかえツマミを上・中・下に動かしてください。（設定は、前輪をまっすぐ前に向けた状態で行ってください。）

注意
- 左右の前輪のキャスター切りかえツマミが同じ位置にあることをかならず確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

ブレーキの調節方法

ハンドブレーキの効き方に不都合があるときは、以下の手順で調節してください。
アウターボルトは左右にあります。必要に応じてそれぞれを調節してください。

✕ ブレーキシューが車輪内側の中心部に当たる

✕ ブレーキシューが車輪内側の上部に当たる

1 駐車ブレーキを解除してください。

2 六角ナット1を反時計回りの方向へ回してゆるめてください。

3 アウターボルトを回して、車輪内側とブレーキシューのすき間を4mmに調節してください。

時計回り ➡ **すき間が広がる**
反時計回り ➡ **すき間が狭まる**

4 アウターボルトを押さえながら、六角ナット1を時計回りの方向へ回して締めてください。（六角ナット1を締める際アウターボルトが回ると、**3**で行った調節がずれてしまいます。）

■上記の手順でブレーキ調節ができない場合

六角ナット2を反時計回りの方向へ回してゆるめ、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っぱり、車輪内側とブレーキシューのすき間を4mmに調節してください。その後、六角ナット2を時計回りの方向へ回して締めてください。
※この調節方法は、アウターボルトでの調節ができない場合にのみ行ってください。
通常の微調節は、上段のアウターボルトでの調節方法で行ってください。

SGマークが表示されたシルバーカーは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたシルバーカーは安心してお使いになれますが、万一、消費者の皆様が正常に使用していたときに、製品の欠陥による事故が発生し人身の損害を被った場合には『製品安全協会』がその損害を賠償いたします。
※但し、保証期間は購入後３ヵ年です。

■賠償についてのご注意

生産物賠償責任保険はご購入のシルバーカーそのものが故障しても、その品質について保証するというものではありません。
その製品の欠陥に基づいて発生した事故による人身の損害に対する対人賠償制度です。

■事故の連絡について

事故が発生した日から60日以内に下記にご連絡ください。

財団法人　製品安全協会
〒110-0012　東京都台東区竜泉２－２０－2　ミサワホームズ三ノ輪２階
TEL．03-5808-3300(代表)

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、
ご購入販売店もしくは弊社カスタマーサポートへご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品を他の方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡しください。

http://www.tacaof.co.jp

14.07